

上田ゆきこ



私生活の中心は
文京区議会議員

無所属

4期の
実績

上田ゆきこの議会活動レポート vol.57

2023年3月発行

創Sow

〒112-0003 文京区春日1-16-21-22階
info@uedayukiko.jp

あなたの
想いを聞
かせてく
ださい。



令和5年度予算 上田ゆきこの提案が実現

上田ゆきこ所属会派は、毎年、
予算要望を提出しています。

若者
生涯学習
社会人の学び直しと女性・就職氷河期世代等の
キャリアアップのさらなる支援を
「文の京」リカレント教育普及促進事業

実現
個人の職業能力向上に資するリカレント教育をさら
に推進していくために、非正雇用者及び個人事業主
のリカレント教育への支援が拡充されます。

まちづくり
コミュニティ支援
地域力の再活性化と新時代のまちづくりを
町会・自治会における地域コミュニティ
推進活性化支援補助事業

実現
コロナ禍における町会・自治会活動への支援や地域
コミュニティの活性化を目的として、新規・再開事業
への補助を継続するとともに、人材確保のための経
費が追加されます。

多様性
難民支援事業
世界の難民の今を区民に啓発を
見て、聞いて、知る世界の難民事業

実現
UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)等と連携した
パネル展、難民キャンプテントの展示、世界難民とい
のぼりの日、関連講演会、シビックセンターのブルー
ライトアップなどの事業が行われます。

プロフィール

- 1981年6月5日富山県生まれ 音羽在住 ●富山県立高岡高等学校卒業
- お茶の水女子大学文教育学部卒業 ●お茶の水女子大学大学院修士課程修了
- 2007年文京区議会議員初当選 ●現在4期目(ずっと無所属)
- 総務区民委員会 災害対策調査特別委員会 ●会派 創(sow) 幹事長

エピソード

高校2年生のときに「ベスト(A.カミュ)」を読んで、全国読書感想文コンクール
で全国学校図書館協議会長賞※を受賞しました。感染症への関心が政策に
も生かされています。※総理大臣賞と文部科学大臣賞の次の賞です。

NEW! 公式サイトをリニューアルしました。

uedayukiko.jp

ご覧ください。



文京区の投票率は前回の参院選で65.10%と、
10万人以上の有権者がいる全国の市区町村でトップ!

お知らせ
文京区議会議員選挙があります。
期日前投票 **4月17日(月)~22日(土)**
投票日 **4月23日(日)**

令和5年2月定例議会の報告

条例案を提案しました。
文京区学校給食費を無償化する条例 → 否決
文京区議会個人情報の保護に関する条例 → 成立

意見書案を提出しました!
学校給食の無償化を国に求める意見書案
出入国管理及び難民認定法に関する意見書案

上田ゆきこのコロナ前からの提案が コロナ対策に役立ちました。

保健師の増員! 保健師の増員は、2018年度予算要望(コロナ前)から予算要望を継続。それにより、2020年度に3名の保健師の増員が決定していたことで、コロナ初期の感染症対応にも貢献できました。	タブレット端末1人1台へ! 2019年の選挙公約であった「教育用端末1人1台」。新型コロナによる休校等を通じてGIGAスクール構想が進展しました。文京区議会でも教育用端末1人1台をコロナ前に提唱していたのは上田ゆきこだけです。
--	---

パンデミック対策の意見書案! 2019年11月定例議会には「抗インフルエンザ薬ゾフルーザの慎重な処方を求める意見書(案)」を提出しました。耐性ウイルスなどによるパンデミック対策の必要性を訴えました。	公衆衛生の啓発! 2009~2010年の新型インフルエンザ流行や2011年の東日本大震災等を経て、公衆衛生の重要性を痛感し、2014年に2回にわたり医療政策の最前線で活躍する講師を迎え、ワクチンや行動制限などについて区民と学びました。
---	---

上田ゆきこの 議会の質問

(令和5年2月 定例議会本会議一般質問から抜粋)

今回の質問のテーマは
"中年の危機" です!

働き盛りががんばるのは当たり前だから、
誰にも弱音を吐けなかつたりする…
やっぱり大人はつらい…

あるあると思った方、共感します。

仕事、子育て、介護、まちづくりetc…
ずっと誰かを支える側としてがんばってきた
中年世代をサポートする政策を
上田ゆきこは提案します!



医療・スポーツ

効果も効率も

中年の危機!男性にも更年期に 対する啓発、サポートを

Q 令和5年度の自殺対策や女性への健康啓発(更年期や女性特有のがん、骨粗しょう症等)に追加して、男性の更年期に対する啓発と総合的なサポートを進めるべき。



A 男性も40代以降は性ホルモン分泌量の低下で体調不良が増える人がいる。自身の健康課題に関心を持てるよう特定健康診査等の保健事業で更年期に対する啓発を行っていく。総合的なサポートは今後、研究していく。

高齢者・若者

地域力アップ

ヤングケアラー支援の現状把握 とさらなる充実を

Q 5年度はさらにヤングケアラー支援について当事者の負担、不安軽減が目指されている。区内のヤングケアラーの実態把握はどのような進捗で、相談体制の充実については現在どのような検討状況か。



A 「支援対策関係者連絡会」で実態把握に努め、昨年末ヤングケアラーの可能性のある家庭を24件支援している。今後、課題を分析し、地域の支援機関・団体と連携を深めて相談支援のネットワークを構築していく。

まちづくり

ハードもソフトも

駐輪場増設で安全で快適な 駐輪環境の構築を

Q 自転車ナビライン上の駐輪対策などを計画しているが、特に公平で便利なコイン式駐輪場のニーズは高く、増設が必要。今後の取り組みへの意気込みを伺う。



A 一時利用制駐輪場は、茗荷谷駅付近の中央大学構内に110台分を4月から利用できるように進め、江戸川橋駅付近の定期利用制駐輪場の一部を一時利用制駐輪場に転用する予定。利用状況を踏まえ駐輪環境を整えていく。

防災

公共自の備え

ペット同行避難ガイドラインを 策定し災害時の不安軽減を

Q 文京区ペット同行避難ガイドラインの策定と啓発が必要。各避難所マニュアルの策定も同時に行うべき。方針を伺う。



A 地域防災計画の修正に合わせ、まずはガイドラインの策定を検討するとともに、それに基づく各避難所マニュアルの作成支援や、ペットの受け入れに必要な備蓄品の検討を行っていく。

まちづくり

ハードもソフトも

中小企業のGX(グリーントランスフォー メーション)をビジネスチャンスに!

Q 5年度予算では、区内中小企業を対象に、現下の経済変動に対応するための支援事業などに取り組みされるが、GXをビジネスチャンスにつなげてほしいというメッセージが伝わりやすい補助金を創設すべき。



A 区内中小企業でのGXにつながる取り組みとして、省エネ設備の導入を進め、「各種認証取得費等補助」により、環境マネジメントシステム、ISO14000シリーズの取得を支援する等、環境保全に取り組んでいく。

子育て

質も量も

おむつのサブスクで保護者 の負担軽減を

Q 区立保育園でのおむつのサブスクリプションの導入を検討を始めべき。保管場所、成長に合わせた多様なサイズの用意、利用しない子どもへの個別の対応などの課題があるが解決方法はある。



A 保護者の負担軽減につながるが、保育園でのおむつの管理上の課題もある。当該サービスを提供する事業者や、導入している保育園へのヒアリングなどを行い、区立保育園で導入する場合の課題を整理していく。

行財政

システムで改善

デジタルトランスフォーメーション(DX) を推進し行政手続きを便利化に

Q 行政手続きのオンライン化への要望が多い。文京区DX推進プロジェクト(令和5年度重点)の詳細を伺う。



A 区民サービスのDXに、おくやみコーナーの開設や窓口でのキャッシュレス決済の導入等。行政事務のDXに、AIによる保育園の入園選考やオンライン会議等の環境整備等を実施する。